

36 深谷赤十字病院



病院の概要

- 医師数 (研修医除く) 94 名 (うち指導医数 39 名)
- 病床数 474
- 研修医数 1 年目 8 名 2 年目 9 名
- 昨年度マッチング受検者数 34 名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学、群馬大学、千葉大学、新潟大学、鳥根大学、埼玉医科大学、順天堂大学、昭和大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、日本大学、東京医科大学
- 診療科 内科、血液内科、腎臓内科、精神科、脳神経内科、循環器科、消化器科、小児科、外科、緩和ケア外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、救急診療科
- 1 日平均外来患者数 773.4 名
- 1 日平均入院患者数 329.5 名
- 主な認定施設 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、第二種感染症指定病院



研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医(上級医)が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起こりません。また、当院は研修医に実践してもらおうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる(=自由度が高い)こと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。

プログラム例 深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム (募集定員 8 名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目	内科				外科				非必修科 ローテ	小児科	麻酔科	救急診療科	
2年目	産婦人科	自由選択			精神科	自由選択科		地域医療	自由選択科				

必修科目

内科：一般内科(8週)、循環器科、消化器科、腎臓内科、血液内科(各4週)
 救急：救急(12週)※2年間の救急外来当直で4週分相当含む
 外科：8週、小児科：4週、産婦人科：4週、精神科：4週、地域医療：研修協力施設(4週)

研修医の処遇

給 与 1 年次:35.3 万円/月(賞与 10 万円/年) 2 年次 40.8 万円/月(賞与 30 万円/年)
 諸 手 当 時間外手当、宿直勤務手当:2 万円/回(1 年次 10 月から支給し、9 月までは半額を支給)、住居手当:最高 2.85 万円/月
 保 険 埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険適用
 厚生年金基金等企業年金あり 医師賠償責任保険(病院において加入)
 勤務時間 8 時 30 分~17 時 00 分
 当 直 あり(4~5 回/月)
 休 暇 土曜・日曜・祝日・創立記念日(11 月 1 日)・年末年始(12 月 29 日~1 月 3 日)・年次有給休暇(1 年次 13 日・2 年次 14 日) ※その他の休暇は病院嘱託・臨時職員就業規則の定めによる
 宿 舎 なし
 そ の 他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・小川赤十字病院(比企郡小川町)
- ・原町赤十字病院(群馬県吾妻郡)
- ・佐々木病院(深谷市)
- ・桜ヶ丘病院(深谷市)
- ・内田ハートクリニック(深谷市)
- ・井上こどもクリニック(深谷市)
- ・おおしまクリニック(深谷市)
- ・皆成病院(深谷市)
- ・埼玉よりい病院(大里郡寄居町)
- ・秩父病院(秩父市)

当院の魅力

充実した指導環境

- ① 多様な症例を経験できる環境。
第三次救命救急センターがある当院の病床数は 474 床、研修医募集定員数 8 名。同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないです。そのため多くの症例を学べて、且つ研修医一人一人に対して指導が行き届く環境です。
- ② 英文抄読会を月 1 回研修医が持ち回りで行う。
市中病院においては英語論文を読む機会が少ないため、日時を決めて研修プログラム責任者と研修医で英文抄読会を行っています。
- ③ 研修医同士の仲が良い。
国立・私立など全国の大学から集まるため、すぐに仲良くなります。研修医室の雰囲気も非常に良いです。
このように、研修医一人一人が自ら考え、学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。



研修責任者からメッセージ



伊藤 博
院長(プログラム責任者)

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。当院では、研修医に実践してもらおうの原則にしていますので、技術的 SKILL UP が体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。初期臨床研修は単なる専門医への前段階でなく、臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコミニカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。

先輩研修医からメッセージ



嶋田 陽葵
研修医 2 年目

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人ひとりの意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長で、2年目に希望選択科を多く選ぶことができます。将来希望する診療科が定まっている人も、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人も融通を利かせるプログラムであることが特長です。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております!



和田 七海
研修医 1 年目

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少ないため、研修医一人あたりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では 1 次救急から 3 次救急まで研修医がファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができるため、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接していただき、アットホームな雰囲気の中で研修できるのも魅力の一つなので、是非一度見学に来てみてください!

女性医師支援コーナー

当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。
 ・産前産後休暇(母子保健法の定めによる勤務免除含む)
 ・生理休暇
 ・育児休業(育児短時間勤務含む)
 ・子の看護のための休暇
 院内保育園
 ※院内保育所(利用対象は、生後 2 ヶ月から満 3 歳を迎えた年の年度末まで)があり、職員であれば、どなたでも利用可能なため、子育て中の職員が安心して仕事に専念できます。その他の福利厚生については、お問い合わせください。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中ですので、お気軽にお問い合わせください(HPから申込みができます)。プログラム責任者が直接、丁寧に当院の研修プログラムの特徴をお伝えします。

連絡先 深谷赤十字病院、教育研修推進室
 住 所 〒366-0052 深谷市上栗町西 5-8-1
 T E L 048-571-1511 (代表)
 F A X 048-573-5351
 E-mail kenshu@fukaya.jrc.or.jp
 U R L http://www.fukaya.jrc.or.jp/
 アクセス JR 深谷駅より徒歩約 20 分、バス約 10 分、タクシー約 5 分

